

災害の危険が迫ったら

# 迷わず避難!!でも避難所だけが避難先ではないんです

■もしもに備えて、家族と一緒に災害と感染症ウイルスから命を守る行動を確認しましょう

避難所においても新型コロナウイルスなどの感染防止対策に万全を期す必要があります。しかし、体育館のようなところに、多くの人が集まり、生活を共にする状況下では、感染のリスクを低く抑えることが難しくなることも考えられます。

■避難所への避難が必要かどうか確認しましょう

避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は安全な場所の親戚や友人の家などへの避難を検討してください。また、自宅の災害リスクによっては、自宅での安全確保も可能です。災害時に避難所に行く必要があるかどうか、次の「あなたが取るべき行動は」から確認してみましょう。

## あなたが取るべき行動は

①ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

②家がある場所に色が塗られている場合、災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの人は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

### 【例外として】

浸水の危険があっても

- ①洪水により家屋が倒壊または崩壊してしまう  
恐れの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにある
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

などの場合は、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

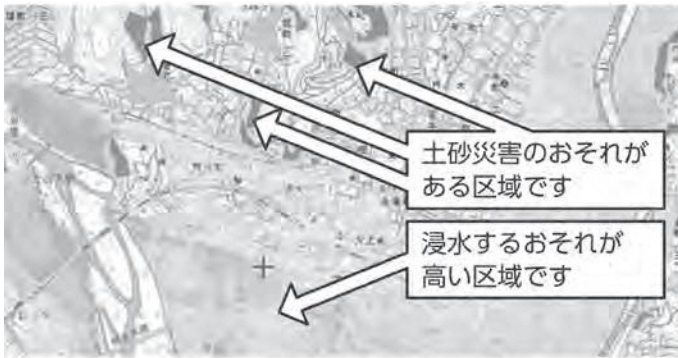
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です

③ご自身または一緒に避難する人が避難に時間がかかる場合は警戒レベル3が出たら、そうでない人は警戒レベル4が出たら避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる場合はそちらへ、いない場合は市が指定している避難所に避難しましょう。



# ハザードマップの見方



## 水害

洪水浸水想定区域  
(浸水深)

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

## 凡例

### 土砂災害

土砂災害警戒区域：■  
土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：■  
建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

## 避難場所



家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか



流速が早いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

5月に配布したハザードマップを必ず確認してください



❗ 警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう

❗ 「避難」とは「難」を「避」けることです  
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません

❗ 避難先は小中学校・公民館だけではありません  
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

## 避難時の感染予防対策4つのポイント

密集を避けるため  
知人、親戚宅や  
在宅避難を検討

手洗い、換気など  
感染予防の徹底

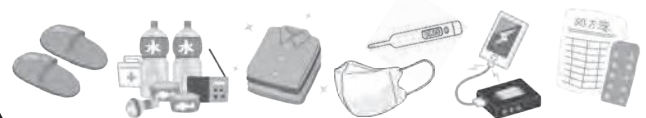
非常食だけでなく  
体温計、マスクなど  
持って避難

体調が悪い場合は  
すぐに申告を

☑ 避難する際の持ち物チェック！

共有物を減らしましょう

- スリッパ (うち履き)  携帯電話  モバイルバッテリー
- 懐中電灯  携帯ラジオ  薬  生活用品  非常食  水
- 携帯トイレ  身分証明書  お金  ヘルメット  マスク
- 消毒液  ウエットティッシュ  体温計 など



● 問い合わせ  
総務課危機管理室  
☎53-2111 (内線3140~3142)



市HP関連ページ